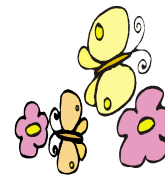
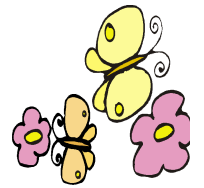
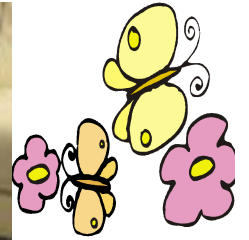


# のびやか



重症心身障害児・者棟 「たんぽぽ東棟」



春の足音が聞こえてくる中、一足先に利用者みんなが桜を咲かしてくれました。うすいピンクやこいピンクを使っているいろいろな桜を咲かしてくれました。

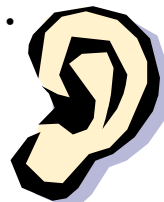
・・・シリーズ 「耳鼻咽喉科から」 第3話・・・

## 『みみの病気』

青い鳥医療福祉センター 耳鼻咽喉科医長 別府 玲子

今回はみみの病気についてお話しします。前回、難聴には、伝音難聴、感音難聴、混合難聴があることをお話ししましたが、伝音難聴にな

る病気の代表的なものは、中耳炎です。中耳炎といっても一つ

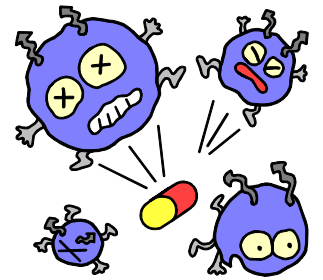


### 目次：

シリーズ「耳鼻咽喉科から」	1 ～2
読書コーナー	2
外来診療部コーナー	3
「支援を学ぶ」	4 ～6
地域自立支援協議会について	6 ～7
入所部門コーナー	7
掲示板	8

ではなく、急性中耳炎、滲出性中耳炎、慢性中耳炎などがあります。急性中耳炎は、風邪をひいた後に起こることが多く、お子さんが夜間‘耳が痛い’と泣いて起きる場合は、大抵急性中耳炎と認めていただくとよいと思います。急性中耳炎は、鼻の奥の突き当りの、のどの壁の両側に開いている耳管という中耳腔をつなぐ管を介して、細菌やウイルスが中耳腔入り、炎症が起こった場合に発症します。耳痛が第一の症状で、炎症がひどくなると、中耳腔に膿がたまり、その量が多くなると、鼓膜がはじけて膿が外耳道側に出てきます。これがいわゆる耳漏（耳だれ）といものです。お子さんの場合は、適切な処置、内服薬（抗生剤など）の投与を受ければ、1～2週間で大体治ります。しかし、最近では、保育所などの集団保育の環境下で、抗生剤の効かない薬剤耐性菌が蔓延しており、繰り返したり、治りが悪かったりする傾向があります。急性中耳炎になったら完治するまでしっかりと耳鼻咽喉科の治療を受けましょう。ただ、夜間耳が痛いからといって、耳鼻咽喉科医のいる救急病院を探しまわり、深夜に受診することは得策ではありません。手持ち

の痛み止め（解熱鎮痛剤）を使用し、翌日の朝一番に耳鼻咽喉科を受診することをお勧めいたします。他に、お子さんに多い中耳炎としては、滲出性中耳炎があげられます。どうもこの頃聞き返しが多いたか、テレビのボリュームを大きくするなどの症状がある場合は、滲出性中耳炎になっていることがあります。滲出性中耳炎は、中耳腔に滲出液がたまる病気ですが、耳管の機能が悪かったり、急性中耳炎の不完全な改善により発症します。先に述べたように、症状は痛みがなく、聞こえの悪さが主体のため見過ごされてしまう場合がありますので注意しましょう。治療は、鼻から耳管に空気を送る通気療法、内服薬の治療を行います。3～6ヶ月しても改善のない場合は、鼓膜に換気チューブを留置する手術の適応になります。そうなった場合は、主治医の説明をよく聞いて治療方針を決定することが必要でしょう。次は、感音難聴になる病気についてお話します。



## 読書コーナー 『いちごばたけのちいさなおばあさん』

福音館書店

わたりむつこ さく ・ 中谷千代子 え

いちごばたけの土のなかに、ちいさなおばあさんがすんでいました。あるとしのこと、春はまだずっとさきだというのに、ぼかぼかあたたかくて、雪のかわりに雨がふりつづいたことがありました。おばあさんはあせをふきふき、かいだんをひやくだんのぼってじめんの上にてしてみました。すると、いちごばたけはみわたすかぎりあおあおとした葉をひろげていました。そして、おばあさんのおしごとがはじまりました。おばあさんはいちごの実がなるまでに、あまくてまっ赤にいろづいたいちごをつくらなければなりません。さて、どうしたのでしょうか・・・



春はいいことがたくさんあります。おいしい食べ物があり、キレイなお花が咲き、気持ちの良い風が吹きます。

外に出て、春を探してみませんか。

(指導員 加藤)

## 「予約のとり方と、外来対応について」

外来看護師 酒井田有希子

皆様、こんにちは。今回は予約方法と、外来で取り組んでいる対応についてお話ししたいと思います。ご存知の方も再確認の意味でお付き合いください。

《予約について》

- ① 基本的に外来看護師で承ります。
- ② リハビリテーション科、整形外科については、直接医事受付へお問い合わせください。
- ③ 歯科受診については、直接歯科スタッフへお尋ね下さい。



※各診療科の概要については、受付に『外来診療のご案内』の用紙がありますのでそちらを参照してください。

《電話予約の場合》

- ① 電話番号は代表番号になりますので、電話口でご用件をはっきりとお話ください。
- ② 患者様の声のみが頼りとなりますので、こちらで間違いの無いように、確認事項を復唱させて頂いております。
- ③ 初めての診察予約の場合、御相談内容等の詳細をお伺いした上で、予約の仕方から説明させて頂いておりますので、少しお時間を頂くことになります。

昨年の夏から、外来診療時に『現在の診察は〇時から〇時の予約時間の方です。』という掲示を始めています。

理由は、

- ① 待ち時間が長くて御迷惑をお掛けしている患者様に声掛けだけでなく目で見て状況をご理解いただくこと
- ② 提示されている時間を見てある程度予測して待ち時間を過ごして頂くこと 　　です。

また、再来の予約時に全部の診療科統一した複写式の予約表をお渡ししています。

複写式にすることで、患者様にお伝えした日時を外来スタッフでも再確認することができます。

病院などの医療機関の受診に対しては、医療従事者である私たちでも少なからず不安を感じるものです。

どのようなことでも構いません。気が付かれたこと、御質問等があれば遠慮なく声を掛けていただきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。





なくなって、相手のネガティブさにも向き合えるようになった気がするのです。それは支援する者の側にある大きな課題だと思います。

「ねえ。先生。これやってもいいでしょう」とゲーム機を持って甘えた声を出していたG夫ももういません。退所してある駅前でたこ焼き屋の手伝いをし

ていたのですが、ある日、ビルから飛び降りて死んでしまいました。彼を思い出すたびに、もっとまじなかわりがあったのではないかと悔やんでいます。

**<第8話 ススキに託されたことば ー必要とされていることー>**

3歳のHくと手をつないで帰ってくると、お母さんが玄関の前で両手を広げて「おかえりー」と待ち受けています。Hくんは左の手で、ビニール袋をしっかりと握っています。その袋にはHくんが散歩の道すがらに摘んできたススキがいっぱい入っていて、揺れています。お母さんを見つけた彼は、私の手をにぎったまま足早に歩き始めました。そして、お母さんの前に来ると、袋を見せて何か一方的に話しかけています。お母さんは、広げた両手を所在無く下げて彼の話に相槌を打っています。Hくんはたどたどしく、しかし、一生懸命に、私と遊んだことやススキがあったことを伝えています。Hくんの輝いている目とは反対にお母さんの目が沈んでいるのが気になります。

これは私が短期母子療育施設・緑の家にいた時のことです。緑の家は、親子8組が一週間ほど家庭や地域から離れて合宿生活をしながら、日頃悩んでいる子育てについての解決の糸口を見つけあうところです。Hくんとお母さんは、他の7組の親子と一緒にここで生活していたのです。Hくんの担当になった私は、毎日、手をつないで700mほど離れたプレイルーム（ドラえもんの家）まで歩いて出かけ、そこで遊んだ後、お母さんの待つ緑の家に帰るというプログラムの中で過ごしていました。

お母さんが遠く緑の家までやってきたのは、Hくんとお母さんとの「母子関係ができていないのではないか」と通っていた療育施設の職員から言われたことが気になっていたからでした。「分かれるときに泣かないし、再会する時も抱きついてこないし。やっぱり、母子関係ができてないからでしょうか」と私に問いかけるお母さんの目は真剣でした。その裏には、自分の母親としての努力が足りないのではないかと、工夫が足りないのではないかとという自分を責める気持ちがいっぱいあったようでした。初日から気の合った私とHくんは、手をつないでニコニコとお母さんに手を振ってプレイルームへ出かけました。そういうことが実はお母さんの心配をさらに煽ったよ



うでした。そんなこととは知らない二人は、プレイルームで遊んだ帰りにはお母さんへのお土産として道すがらの「ススキ」を取ってきたのでした。Hくんのお母さんに対する気持ちはとても豊かなことを感じていた私は、プレイルームでの様子を伝えました。お母さんはその報告を聞いてもまだ胸のつかえは降りないようでした。それだけ、お母さんには打てば響くような手ごたえがなかったのでしょうか。私はお母さんを説得するのはやめて、流れるままに二人で仲良くプレイルームに出かけ、帰りにはいつもススキを取って帰ってきました。いつもニコニコといい顔でした。

お母さんは、Hくんが本当に自分を必要としているのか、ずっとずっと考え込んでいました。明日は家に帰るといふ4日目の夜のことでした。お母さんは隣で寝ているHくんに「明日、お昼ご飯を食べたらパパのいる家に帰るよ」と告げました。すると、Hくんは起き上がって枕もとに置いてあったススキを手にして「おとうさんに、あげようね」とお母さんを見つめてやさしく言ったそうです。お母さんはそのとき初めて、Hくんが私たち親のことを大事に思ってくれていたことがジーンと伝わってきたそうです。「この子はこんなに素直に言ってくれてたのに、自分は何にこだわっていたのだろう」。お母さんは涙を流しながら話してくれました。

きっとお母さんは手ごたえを感じないもやもやとした頼りない気持ちを「必要とされている」という表現形（例えば、再会時に抱きついてくるとか）で明確に立て直したかったのでしょうか。<人から必要とされていること、大切に思われていること>は、この世にうまれた誰もにとっても生きるうえでもっとも大切な原動力ではないでしょうか。子どもがそれを感じ、親もそれを感じている。感じていることなのに、気がつかないでいる。それを見つけることへの支援

は、二人の関係を大切にしたいという思いを基にした、あらゆる支援の根本だと思っています。

その年の年賀状には、ディズニーランドでの3人の笑顔が映っていました。お父さんとお母さんの真ん中で得意げな笑顔のHくんがいました。

\* \* \*

思いつくままに8話にわたって、障害のある本人、教護院の生徒、親御さんとの日常の交流から教えられた様々なことを振り返ってきました。

ここに、もう一度お話しを整理してみます。①目の前にいる人はさまざまな経過があつてここにおり、そこに生活という営みが確かにあるということ、②違った立場で物事を見るとそこには様々な気持ちが込められてあり、そこに見えるものが真実であるということ、③奇異に見える行為でもそれぞれに理由があり、その人にとってかけがえのないものがあるということ、④その人が抱えている問題をその人に代わって解決することはできないけれども、その人のそばに居ることは、その人を見捨てないことであり、自分をも諦めないことであるということ、⑤冷静な正しい判断というものだけが人の役に立つわけではなく、人の魂を鎮めるのは、自分の揺れ動く魂を鎮める自分自身の決断であろうこと、⑥人間が人間を意のままにコントロールすることはできないし、またするものでもない。コントロールすることの気持ちのよさに眼や耳を塞がれては支援とはほど遠いものになってしまうということ、⑦自分の中にあるネガティブな気持ちも自分のものであることに変わりがなく、それはそれでいいということ、⑧自分がかげがえのない存在として人から大切に思われていること、必要とされていること、それを感じながらい

られること、それは生きる源としてお互い様であるということ、でした。

支援者としては、<相手の土俵でかかわること>、<相手に向けられたニュートラルな関心>、そして<ささやかな自己肯定感>。この三つの教えが基本と思っている私です。求められるままに綴ってきましたが、目の前にいる人との日常の交流から教えを受けているのは、今も同じです。そして、学んだことはまたどこかにお返ししていくことになるのだと思っています。長い間、おつきあいいただきありがとうございました。

(なお、ここでお話しました登場人物等は本意を壊さない範囲で変更を加えました。)

(おわり)

### 3年間ありがとうございました!



「早く続きを読みたい」と「支援を学ぶ」を楽しみにしている声も聞いていましたが、残念ながら今回で終了となります。地域療育研修会や親グループ交流会、母子通園の施設支援等で、地域の方と接する機会も多くありましたので、高井課長の話をも直接聞いたことのある方も多いと思います。エピソードを交えながら、自身の経験の中から感じてきたことを分かりやすく話していただき、自分のことを振り返ったり、励まされたりする方も多かったのではないのでしょうか。

少しでも多くの方にお伝えすることができたらと、原稿を依頼し連載してきました。青い鳥での任期もこの3月で終わってしまいますが、新天地でのご活躍をお祈りしています。本当にありがとうございました。

## 地域自立支援協議会について



平成18年4月より『障害者自立支援法』が施行され、市町村は「地域自立支援協議会」を設置し、障害者の生活を支えるための相談支援事業をはじめとするシステムづくり等について協議することとなっています。愛知県内の設置状況ですが、27市町村は設置していますが、36市町村は未設置となっています。(平成19年11月30日現在)

多くの市町村で設置にむけて準備がすすめられており、青い鳥の担当圏域の海部圏域・尾張中部圏域においても、圏域担当者会議や準備会を定期的に行い、協議会設置方法等について検討されてきました。

今回は尾張中部圏域の協議会が開かれたので、そちらの状況についてお知らせします。

## 尾張中部福祉圏域障害者自立支援協議会設立式・ 第1回協議会が行われました。

平成19年5月に「尾張中部福祉の杜」が圏域内の委託相談支援事業所に呼びかけ、自立支援協議会にむけての準備会が開かれました。5回の準備会が開かれ、相談支援事業所と行政担当者によりどのような自立支援協議会を作っていくのかが検討され、準備がすすめられてきました。

平成20年2月19日（金）に尾張中部福祉圏域障害者自立支援協議会設立式・第1回協議会が行われました。医療機関をはじめ、各種サービス事業所、障害者団体、学校関係、就労関係等、地域での生活を支える関係機関の代表者で構成されています。

設立式では「障害者が地域で自立した暮らしをしていくため、市町の状況に応じたサービスが充実し質の向上や量が確保できるよう皆様のお力をお貸しいただきたい」と、西春日井市町会の会長の河合春日町長よりあいさつがあり、委嘱状の伝達が行われました。

ひきつづいて、第1回協議会が行われ、会長が互選、副会長が指名され、事務局より自立支援協議会

の運営についての説明がありました。今後は、毎月第3火曜日の午後から開催される運営会議で協議されていく予定になっています。

尾張中部福祉圏域は2市2町（清須市・北名古屋市・豊山町・春日町）ありますが、福祉圏域単位での立ち上げは、愛知県内で尾張中部福祉圏域のみで、新しい形での障害者自立支援協議会になります。

広域ならではの良さを生かして、各事業所間の連携を図り、実効性のある協議会になるように取り組んでいくことが期待されます。

（地域療育 尺土）



## 入所部門

### ★★肢体不自由児棟「なのはな棟」★★

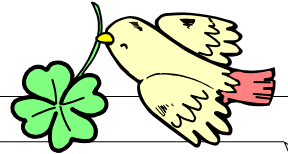
なのはな棟には、年間20人前後のお子さんが手術目的で入所されます。2号室は手術を受けるお子さんのため、カーテンを星空☆にし、手術前後のスケジュール表を作りました。おもちゃやアロマオイルなど少しの工夫で、手術の痛みが和らぎますように・・・と願っています。

（保育士 服部）



なのはな棟2号室の風景です。





## 外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科 (長谷川)10:00~ 歯科(平岡)	皮膚科(杉浦) 小児科(安井) (小児発達外来) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 児童精神科(小石)	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児科(安井) (小児発達外来) 9:00~11:00	小児科(鈴木) <第1・3> 小児科(生田) <第2・4> 整形外科(栗田) 児童精神科(石井) <第2・4>	小児科(安井) 整形外科(栗田) 児童精神科 (長谷川)10:00~
	午後 13:30 ~ 16:00	児童精神科 (長谷川) 歯科(伊藤、平岡) 耳鼻科(別府) 外来新患カフェ 14:00~	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4> 児童精神科(野邑) 児童精神科(小石)	リハ科(岡川) 14:00~ 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 小児科(安井) (小児発達外来)	児童精神科(石井) <第2・4> 耳鼻科(別府) 歯科(河合) <第4>

○平成19年10月現在の外来診療です。  
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

### 外来療育相談予定表(4~6月)

	伊藤相談員		大橋相談員	
	午前	午後	午前	午後
4月10日(木)	○	○	4月8日(火)	○
4月18日(金)	○	○	4月15日(火)	○
4月25日(金)	○	○	4月22日(火)	○
5月1日(木)	○	△	5月13日(火)	○
5月9日(金)	○	○	5月27日(火)	○
5月16日(金)	○	○	6月2日(月)	○
5月23日(金)	○	○	6月16日(月)	○
6月6日(金)	○	○	6月24日(火)	○
6月19日(木)	○	○		
6月27日(金)	○	○		

\*予約制となっております。



- 名鉄大山線 中小田井駅下車(名古屋駅から山方面普通電車に乗約4つ目の駅。所要時間9分)徒歩で約3分。
- 地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一方方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の交差点「中川町4」を右折し、2つ目の角を左折し、すぐ左折。
- 橋JCT方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

担当 伊藤相談員  
 地区 津島市、弥富市、海部郡(七宝町、甚目寺町、飛島村)、北名古屋市  
 その他の市町村(名古屋市以外)

担当 大橋相談員  
 地区 愛西市、海部郡(美和町、大治町、蟹江町)、清須市、西春日井郡(豊山町、春日町)、名古屋市

ホームページもご覧ください  
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/>

\*過去の「のびやか」も掲載されています。